

## 鎌ヶ谷市議会 6月定例会の質疑応答結果

### 議員から市の行政に対する質問（一般質問）

6月22日（水）津久井清氏 議員

福島原発事故による市内の放射線量調査と今後の対策について

（市内における放射能調査の結果は / 放射能調査で千葉県・東葛6市の対応策は / 放射線安全基準値の問題点と今後の対策は）

震災時（3・11）における児童生徒への指導と今後の取り組み

（3・11震災時における各学校の子どもへの指導はどうだったか / 問題点は何か / 今後の取り組みの方向性は）

県道船取線の歩道未整備（北部地区）の現状と今後の方向性

（県道船取線の歩道未整備（北部地区）の現状認識は / 未整備の原因は何か。今までの取り組みは / 今後の取り組みの方向性は）

津久井議員は、以下の要望書に添ったいくつかの質問をして下さいました。

前日、千葉県東葛地域の子供たちを放射能汚染から守ろうの会 鎌ヶ谷市代表により、清水聖士鎌ヶ谷市長宛に要望書を提出しました。

### 要望書内容

#### **親たちからの提案・意見・質問**

市から保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校へ市立・私立関係なく平等に通知してほしいこと。

1. 乳児を地面に近い場所で遊ばせない。（保育園）
2. 乳児のミルク、離乳食には水道水を使わない。（保育園）
3. 雨の次の日や風の強い日は外に出さない。
4. 草木に触らない。
5. 泥遊びは当面禁止。
6. 水、土壌の放射線測定検査の実施。

- 7 . 子どもの高さでモニタリングポストを設置し測定してもらいたい
- 8 . 野菜も肉も牛乳も地産地消をやめ、西の食材（汚染のないもの）を積極的に流通してもらいたい。
- 9 . 不安感を持つ児童・生徒、保護者に十分配慮した対応を図ること。
- 10 . 野焼きの絶対禁止。（汚染物質の拡散につながるため。）
- 11 . 今後症状が出た場合の対応について
- 12 . 避難したい人たちへの移住などの支援について

以上

以上、要望書中の**親たちからの提案・意見・質問**に対して、以下、**市議会に実際に取り上げられた質問と回答**。

2 . について・・・

《市側》3月23日に暫定基準値を超える放射性ヨウ素を検出した際、市の対応として3月25日～27日までの3日間、鎌ヶ谷市役所に設置している防災用井戸水（深さ80m以上の井戸付耐震性貯水槽・年2回水質検査）の水を、乳児用として提供した。同時に乳児以外の市民には念の為、水道水の摂取を控えるようホームページ・市内放送等での呼びかけを行った。

その後、不検出だった（暫定基準値を下回った）為、安全だと判断し27日をもって井戸水の供給を終了した。

《津久井議員》実際の呼びかけ及び井戸水の提供が、3月23日に放射性ヨウ素が検出されてから約2日後からの対応だったのはなぜか？

《市側》それは飲んでも大丈夫だという確認を取っていた為。

《津久井議員》確認は大事だが、3月23日に（放射性物質が）検出された時には、一般市民はひねればすぐ出る水道水を危険だとも知らずにいつも通りに飲んでいただけですよ？あの井戸水は今回のような緊急事態、非常時の為に市民の税金を使って作られたものです。それが活用されるまでに2日ですか？市民の安全の為に使われるべきものです。今後は素早く対応できるようにしてほしい。

1 . 6 . 7 . について・・・

《市側》放射線測定検査の内、空間については只今、地上5cmの高さの測定も追加するかを検討している。

土壌の測定についても検討中。学校など土の入れ替えについては考えていない。飲料水については千葉県水道局にて連日検査が行われている。学校などのプールの水質検査については2週間ごとに測定し、

(基準値以上)検出されればプールの使用は中止とすることは決まっている。保育園に関してはプールの水は毎日取り換えている。今後は継続的な測定をしていく。

おわりに・・・

《津久井議員》今回の原発事故による放射能対策の一つとして、臨時的にでもいいので対策本部を置いてほしい。

《市側》それについては既に専門家も入る東葛6市による対策協議会が設置されている。

気になったこと・・・

津久井議員は要望書の内容に触れる前に、チェルノブイリの例を挙げ、市側は、それと比較して今回の原発事故による放射能問題をどう認識しているかという確認を致しました。

《津久井議員》WHO(世界保健機構)に要ると、1986年4月26日未明に起きたチェルノブイリ原発事故から5年後に小児甲状腺がんが増え始め、(津久井議員が具体的に例に挙げた資料、数字などは忘れてしまいました、すみません。【】内は、まとめた者が調べた情報です。言わんとすることは同じとします。)【事故前は11年間(1975年～1985年)で7名だった小児甲状腺がんは、事故後の11年間(1986年～1996年)で72倍の508名に上っている。】

この事実についてどう認識されていますか？

《市側》チェルノブイリで急増した小児甲状腺がんの原因は、当時放射能については解っていないことが多かった為、制限なしの飲食物から摂取された内部被爆だった。**いち早く制限を設けたりなどの対応をすれば被害は最小限に防げたものと認識している。**

《津久井議員》早く対応をすれば効果があったと認識している、ということですね？

《市側》そう認識しています。

\* 太字、下線部分の市側の発言について今後は更に突き詰めていって欲しいです。それにより早急に元の基準値(一般人が1年に浴びても良いとされる人工放射能)での考え方に戻し、早急に除染や制限などの対応をしていって欲しいです。